21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

PRESS RELEASE



カンゲキの少ない1年、で終わらせちゃいけない。

高校生限定

劇的!バスツアー 2020

金沢 21 世紀美術館では次世代の観客および舞台人の創出を目的に、高校生及び 15~18 歳のユースの観劇体験をサ ポートする鑑賞券・高速バス料金無料のバスツアーを実施しています。舞台芸術に携わる専門家やアーティストがガ イド役となり、高校生が県内外の劇場空間にて、厳選された観劇やアーティストトーク、バックステージツアーなど を体験することにより、改めて舞台芸術の魅力と出会う機会を創出するプログラムです。2020年度は、オーバード・ ホール (富山市芸術文化ホール) にて上演されるタニノクロウ×オール富山 2nd stage 『笑顔の砦'20 帰郷』、金 沢 21 世紀美術館 シアター 21 にて上映されるナショナル・シアター・ライブ『リーマン・トリロジー』、石川県立 音楽堂コンサートホールにて演奏される鈴木優人 × オーケストラ·アンサンブル金沢『第 436 回定期公演フィルハー モニー・シリーズ』を鑑賞する高校生を各回20名限定で募集します。

※今年度のバスツアー対象公演はオーバード・ホール公演のみとなります

イベント名	高校生限定 劇的!バスツアー 2020
公演	(1) タニノクロウ×オール富山 2nd stage『笑顔の砦 '20 帰郷』
	出発日: 2020 年 12 月 6 日(日) ナビゲーター: コーフィー(元井康平)
	会場:オーバード・ホール舞台上特設シアター 参加定員:20 名(先着順)
	申込締切:2020 年 11 月 13 日(金) 参加費:ランチ代 1,000 円(税込) ※当日支払
	(2) ナショナル・シアター・ライブ上映会『リーマン・トリロジー』
	開催日: 2020 年 12 月 19 日(土)・20 日(日) 各日 1 回上映
	会場:金沢 21 世紀美術館シアター 21 参加定員:各回 20 名(先着順)
	トークゲスト:中村未知子(NTLive 配給会社カルチャヴィル代表)
	申込締切:2020 年 12 月 18 日(金) 参加費:無料(休憩時 1 ドリンク付)
	(3) 鈴木優人×オーケストラ・アンサンブル金沢『第 436 回定期公演フィルハーモニー・シリーズ』
	開催日:2021 年 1 月 9 日(土) ナビゲーター:オーケストラ・アンサンブル金沢スタッフ
	会場:石川県立音楽堂 コンサートホール 参加定員:20 名(先着順)
	申込締切:2020 年 12 月 18 日(金) 参加費:無料(お菓子・ドリンク付)
対象	高校生及び 15~18 歳のユース
申込開始日	10月17日(土)10:00~
申込締切	各回で異なる(上記のとおり) ※各回とも定員に達し次第、締切り
(1)のバスツア-	————————————————————————————————————

TEL 076-231-2126 FAX 076-223-1289

公演内容に関するお問合せ・(2)(3) のお申込み:金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811(火~日 10:00~18:00)

または WEB 申込フォームにて受付(詳細は WEB サイトをご確認下さい)

Email event_k@kanazawa21.jp

主催 金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]

取材申込み/問合せ先 金沢21世紀美術館 広報担当:落合、石川、齊藤(広報室)、事業担当:川守、黒田(交流課)

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

https://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp

※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。

PRESS RELEASE

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

バスツアー公演

タニノクロウ×オール富山 2nd stage 『笑顔の砦 '20 帰郷』



庭劇団ペニノ「笑顔の砦」2018より photo:堀川高志

<スケジュール>
10:00 JR 金沢駅発
11:15 富山市内でランチ
12:30 オーバード・ホール到着
13:00-15:00 観劇
15:30-16:00 アフタートーク
16:15 オーバード・ホール出発
17:30 JR金沢駅到着
※貸切バスは北陸交通(株)を利用し、
定員の半分で運行します
※添乗員同行

「オール富山」で製作される舞台演劇

「富山県出身の劇作家・演出家タニノクロウが、キャスト・スタッフとも「オール富山」で演劇を製作するプロジェクト。第2作目で取り上げるのはタニノの処女戯曲で、岸田國士戯曲賞にノミネートされた「笑顔の砦」。タニノの代名詞と言える緻密な舞台美術は、現在公募スタッフが4か月かけて製作中。細部までこだわった超リアルなセットにも注目!公演後タニノクロウとのアフタートークも!

特別招待公演 (現地集合·現地解散)

ナショナル・シアター・ライブ上映会 『リーマン・トリロジー』



© Stephanie Berger

<スケジュール>
12:30 受付開始
13:00 開場
※13:20 までに受付を済ませて下さい(全席自由)
13:30 鑑賞(221分)
※途中 20分×2回の休憩あり
17:20 アフタートーク
18:00 終了

名優3人と映画監督サム・メンデスによる 世界最高峰の舞台をスクリーンで

世界的な投資家リーマン一家が米国に移住した 1844 年から 2008 年のリーマン・ショックが 起こるまでの 3 世代にわたる栄光と衰退を描く 舞台で、ナショナル・シアター上演時にはチケット完売を記録した注目作。主演の 3 人が約 3 時間にわたり、150 年以上にわたるリーマン家の 歴史を演じ切る。観劇後に、ゲストを交えたトークセッションあり!

鈴木優人 × オーケストラ・アンサンブル金沢 『第 436 回定期公演フィルハーモニー・シリーズ』



<スケジュール>

12:45 石川県立音楽堂 1 階

正面入口集合

13:00-13:30 プレトーク

14:00-15:15 鑑賞

15:45-16:15 バックステージツアー

16:15 現地解散

古典を愛でるニューイヤーコンサート

2021 年ニューイヤーコンサートは、指揮、作曲、鍵盤奏者からプロデュースまで手掛ける鈴木優人を迎えて、モーツァルトとハイドンの交響曲、そしてヘンデルのオルガン協奏曲の弾き振り(オルガンを弾きながら指揮する)を楽しめるプログラム。才能あふれる鈴木優人が引き出す OEK の原点、OEK らしさにぜひ触れてみてください。

プレトーク&バックステージツアーも実施!

PRESS RELEASE

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

昨年のツアー参加者 の感想

Noism1 新作公演 森 優貴 / 金森 穣(りゅーとひあ新潟市民芸術文化会館)参加者より

"生の舞台で生の熱気を味わうことの大切さを教えてもらいました。舞台での芸術、ダンスの良さを改めて知ることができ、うれしく思います。"(金沢中央高等学校)

"今回、友達に誘われ、初参加でしたが、本当に来てよかったと思っています。ぜひ来年 以降も、時間があれば参加したいです。「この感動をすぐ忘れて現実に戻る」ではなくて、 「この感動をじっくりじっくり身に染み込ませて、その染み込んだものを、現実を生きる チカラに変える」ようにしたいですね。"(金沢中央高等学校)

コンドルズ兵庫スペシャル公演『Don't Stop Me Now ドント・ストップ・ミー・ナウ』(兵庫県立芸術文化センター)参加者より

"心、全身でわくわくしました。自分のなかのなにかが動き出す、あふれだす、うれしい喜びでいっぱいでした。帰ってじっくり思いをめぐらしたいと思います。ありがとうございました。とてもよい1日でした。"

鈴木忠志『世界の果てからこんにちは』(富山県利賀芸術公園)参加者より

"素になる感覚を体全体で分かったのが楽しかった。"(北陸学院高等学校)

"言葉では言いあらわせない程、感動した。役者 1 人 1 人の声の出し方、立ち回り方、視線、すべてがあの場の空気を作り上げていて、1 時間の作品を 10 分のように感じた。あいにくの天候だと感じていたが、その雨すらも 1 つの演出のように見え、本当に良かった。" (北陸学院高等学校)

"無料でこのようなツアーをして下さってありがとうございます!!! 人生の中において記憶に残る日になりました…。"(北陸学院高等学校)

広報用画像

画像1~3を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。